

倫理委員会審議内容

令和1年9月10日開催

No.1	申請者：看護師 山里 聖子	
課題	重症心身障害者病棟における肌に優しいシャワー浴の方法とグリセリン水の肌乾燥改善効果	
研究の概要	<p>A病棟の利用者は、年齢層も幅広い。その利用者の多くが様々な皮膚トラブルを抱え、高齢化や体質による皮疹や乾燥、自傷による傷など原因はさまざまである。掻痒感や不快感が日々続くことは、生活の質の低下にも繋がっているため、予防的なスキンケアを導入することで、皮膚トラブルの減少の効果が期待できると考えた。本研究では、利用者の皮膚トラブルから、軟膏処置までに至ることを減少させるため、日常の看護ケアにおいてシャワー浴方法変更とグリセリン水による保湿ケアに取り組み、その効果をあきらかにする。継続的な保湿ケアを行うことにより皮膚の乾燥を改善させ利用者全体の皮膚トラブルを予防することが期待できると共に、更に快適な療養生活に繋がることを期待している。</p> <p>今回の期待する効果がわかるように、軟膏処置を行っていない利用者を選定し、年齢も同年代の男女を選定、また、オムツや衣服の着用状況、日中の活動などもできるだけ同じになるように対象者を考慮し、全利用者41名中、介入群5名、対象群5名を選定する。</p>	
判定	承認	
利益相反審査判定	承認	